

(様式4)

平成29年3月2日

平成28年度 第3回 大阪市立夕陽丘中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立夕陽丘中学校
校 園 長 名 福 山 英 利

日 時	平成29年3月1日(水)	
場 所	大阪市立夕陽丘中学校 多目的室	
出席者	委員	川村光(委員長)、米谷忠俊(委員)、富士原純一(委員)、和久易子(委員)
	校 園	福山英利(校長)、吉次憲保(教頭)、小松和樹(首席、生徒指導主事)、 渡邊崇之(教務主任)、西山健太郎(生活指導部長)
	区役所	加守田眞志(窓口サービス課課長)
議 題	(1)運営に関する計画・自己評価(最終評価)について (2)・全国体力・運動能力、運動習慣等調査について ・学校教育アンケート・3年生統一テストについて (3)協議・意見交換	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 自己評価及び取組内容に関して理解を得た。	○【ICTの活用】の進捗状況Aと、各教科のICT活用状況の達成状況Bの違いはあるが、研修を実施し、ICTを取り入れた授業を進めていることは評価できる。 ○最終評価から、研究授業・研究協議への教員参加が不十分ということがあったが、個々の先生方は熱心に取り組まれているのではと感じている。 ○結果と分析については、指標と関連づけて記載したほうがわかりやすいので工夫してほしい。
	(2) 調査分析結果やアンケート結果から、成果と課題について理解を得た。	○体力について、10年前と比較すると基礎体力が落ちていると感じている。 ○生徒アンケートより、先生方が授業に工夫されていることがわかる。 ○アンケートは学年別に集約し、経年比較した方がよいのではないかと思う。また、外部発注をしたらどうか。 ○保護者アンケートより、学校がHPや学級通信などで、情報発信ができています。学校の教育活動に協力してもらうように保護者に啓発していくことが大切である。
(3) 〈協議・意見交換〉	○OECD調査より、日本の教員は働きすぎである。夕陽丘中学校の先生方も様々な取り組みをすることで、負担が大きいのではないかと危惧される。 ○保護者の行事への参加率を集計し、学力や体力との関係を学年ごとで調べるなど違った角度から分析するのも必要なのではないかと思う。	
協 議 資 料	平成28年度 運営に関する計画・自己評価(最終評価) 平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果 学校教育アンケート(保護者用・生徒用)結果 平成28年度「大阪府立夕陽丘中学校3年生統一テスト」検証シート	
	傍聴者[1]名 天王寺区役所 サービス窓口課課長	